

第9回ごみ焼却施設用地検討部会議事録（概要）

- 1 **開催日時** 平成26年10月17日（金）午後7時00分から9時00分まで
- 2 **開催場所** 鎌倉市役所本庁舎 4F 402会議室
- 3 **出席者** 荒井会長、河邊副会長、
深山秀男様、石井信様、矢澤基一様、岩佐勝司様、吉田好明様、三浦昭男様
- 4 **事務局** 石井環境部長、小池環境部次長、遠藤環境施設課長、近藤環境施設課課長補佐、
齋藤環境施設課課長補佐、花田環境施設課環境施設担当

5 協議内容

- (1) 3次選定（比較検討項目と評価方法）の検討について
- (2) 基本方針の住民への説明について
- (3) その他

6 配付資料

- (1) 資料1 「4候補地に対する相対比較項目（19項目）の調査結果概要について（未定稿）」
- (2) 資料2 「候補地別課題整理表（未定稿）」
- (3) 資料3 「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果報告書雛形（素案、未定稿）」

7 会議の概要

主な質疑応答等の内容は次のとおりです。

(1) 配布資料、議事録の確認（遠藤課長）

配布資料について確認。

本日の資料も未成熟な箇所もあり素案であることから、これまでどおり取り扱い注意でお願いしたいと思うがいかがでしょうか。

荒井会長

資料の取り扱いについては事務局からの提案のとおりでよいでしょうか。

（了承）

それでは、資料は、取り扱い注意でお願いします。

続いて議事録の確認についてお願いします。いかがでしょうか。

特にないようですので、了承とします。事務局は、鎌倉市ホームページへの掲載をお願いします。

それでは本日の協議に移ります。まずは事務局から説明をお願いします。

遠藤課長

4候補地に対する相対比較項目（19項目）の調査結果概要について、調査中となっていました。

た車両通行状況と付帯費用についてご説明いたします。

荒井会長

ありがとうございました。ご質問があればお願いします。

市民D

このデータは平日の調査結果ですが、観光シーズンの祭日にごみを集める場合の混雑が心配されます。それから、早朝に許可業者が施設にごみを搬入していることを初めて知りました。これは許可業者が前日に収集したごみを施設に搬入しているのですか。

遠藤課長

早朝に収集した事業系ごみの搬入が行われています。

市民D

以前にも同様の意見を述べたことが議事録にも記載されていますが、深沢の交差点を搬入ルートに含めることは難しいと思います。

遠藤課長

手広の交差点を利用する等の搬入ルートを設定することが必要だと思います。

市民F

交通量について、現況を基に検討した場合、増加率は軽微であると思いますが、例えば、深沢地域総合整備事業区域内市有地は、高層マンションやショッピングセンター、新駅ができた場合には、人口集中が起きて交通状況も一変します。ごみもパッカー車も増えると思われます。現況は分かりましたが、将来的なことはどう考えておくべきなのでしょうか。

遠藤課長

交通車両台数は増加すると考えられますが、逆に交通基盤も現在よりもしっかりとしたものになると考えられますが、どの候補地に対しても、道路整備などを踏まえた対応策を検討していく必要があると考えています。

荒井会長

ごみ焼却施設の建設の場合、道路の拡幅が前提になりますので、将来的なことを視野に入れておく必要があると思います。

市民E

ごみの収集を、市の直営事業、外部委託のどちらで行うかという方向性をはっきりさせる必要もあるのではないのでしょうか。委託とした場合に、車両台数が変わることはないのですか。また、ごみは、観光ごみ・家庭ごみともに増加する時期があります。検討を行った3月というのはごみの少ない時期ではないのですか。

遠藤課長

3月は、引越し等があり、比較的ごみが多い月となっています。ごみの収集は、委託化を進めており、将来は、委託業務へと移行すると思われます。ただし、すべてが委託業務に移行したとしても、車両台数が増加することはないと考えています。

市民 E

名越クリーンセンターでは、許可業者が早朝にごみを搬入するために、施設の前で待機しています。クレームの原因となる可能性があるため、その辺の対策は考えておくことが重要だと思います。

遠藤課長

現在、名越クリーンセンターでは、7時半から30分間ごみの搬入を受け付けています。今も待機しないように指導していますが、今後も指導しながら対応していく必要があると思います。

河邊副会長

将来推計では、ごみの排出量はとなると想定されていますか。

遠藤課長

ごみ量は、減量審から生活環境整備審議会に提出された「最適な資源化のあり方について」で推計がされています。現在の施策の実施に基づいて試算すると、平成37年には、現在の36,600tから約30,000tへと減少すると想定しています。

河邊副会長

つまり、ごみ量も収集車両も、将来的に減る方向にあるということですね。

市民 F

減るかどうかは分からないのではないのでしょうか。戸別収集を実施する場合には、車両も人員も増加すると思います。また、人口集中が起きた場合にはごみ量が増加します。現在もごみ量がなかなか減っていないことを考えると、平成37年に30,000tになるかは分からないと思います。

市民 B

この時点では、減少するという前提に基づいて検討するしかないのではないのでしょうか。

小池次長

戸別収集が先送りになってはいますが、推計では減るという想定となっています。減らないという議論もあると思いますが、市もごみ量は減るという前提で様々な計画を進めています。

荒井会長

仮に車両数が1割増加したとしても大勢に影響はないと思います。車両の待機の件について

は、敷地内に車両の待機場所を確保すれば、解決できると思います。

河邊副会長

戸別収集で車両が増加した場合にも「大勢に影響はない」ということを記載しておいてはどうでしょうか。

遠藤課長

確認して反映させるようにします。

市民 E

ごみ量は人口の増減によって変わるということですが、10年後の都市計画における人口というのは、どのような推定をされているのでしょうか。鎌倉市の人口は、大きくは変わらないのですか。

小池次長

減量審における人口推計は、平成24年3月に作成された「鎌倉市将来人口推計調査」を基にしています。人口は少しずつ減少していく推計となっており、平成37年には、現在の17万4千人から16万7千人に減少すると推計されています。

市民 F

人口の自然減は全国的な傾向であるため、鎌倉市においても当然あると思いますが、場所によっては人口の増加もあると思います。平成24年の人口推計に、深沢地域総合整備事業区域内市有地のことが織り込まれていないのではないのでしょうか。

石井環境部長

都市計画も含めた推計と思われますが、確認します。

荒井会長

仮に人口の増加があったとしても、2、3倍になるわけではありませんので、収集車両が大幅に増加することはないでしょう。

石井環境部長

現在よりも人口が増えるということはずないと思います。場所的な増加があったとしても、2,000～3,000人程度の増加だと思います。

荒井会長

今、意見があった事項は、事務局で整理して報告書に反映させてください。
次に、付帯費用について、説明をお願いします。

遠藤課長

付帯費用について、以前に造成費用はどの候補地も同じなのではないかという意見をいただきましたが、土地の土質等によって杭の深さ等が変わるため、費用にも差がありますので、比較検討項目表に、すべての候補地で共通に係る費用、個別に必要な費用と分けて記載させていただきました。

また、比較検討項目の16、17番の項目は、どの候補地が選出されたとしても、実施をしていかなければならない事項であるため、所見の内容を文章で記載してはどうかと考えていますが、いかがでしょうか。

荒井会長

ご意見はありますか。

市民C

13番の付帯費用の項目について、野村総合研究所跡地は橋の補修や解体が必要となるため、焼却施設建設というひとつの事業としてみると、費用が高いと感じられますが、そこに複合施設を建設し整備すると考えれば、高くはないと思いますので、その辺をどう評価しておくべきか、検討する必要があるかと思います。

遠藤課長

以前にも、野村総合研究所跡地で事業を行う場合には、事業内容に関係なく橋の補強が必要という話がありましたが、現状として、この場所に建設した場合にはこれだけの費用が掛かる、という情報は公開していく必要があると考えています。

齋藤課長補佐

事業内容に関係なく橋の補強が必要という話等は、報告書のまとめとして文章で記載していくことで、細かいことを周知することが可能だと思います。

荒井会長

そのような指摘を受けたということを前提に、まとめとして文章に記載していけば良いと思います。

河邊副会長

解体費用が高いように感じますので、費用算出の根拠を出していただければと思います。それから、16、17番の項目については別途記載で良いと思います。

遠藤課長

根拠資料もありますので、用意いたします。

齋藤課長補佐

資料2は19番目の各候補地の課題と、1から18の比較検討項目を合わせ、課題を抽出した資料です。

表の左側半分は、課題の趣旨を、右半分はその課題に対する現況や考え方を表記しました。課題については、これまでに皆様へ説明させて頂いた内容を網羅していると思いますが、ここに記載されている内容につきまして、ご意見を頂ければと思います。

荒井会長

報告書にこの内容も含まれているようですので、報告書の説明もお願いできますか。

遠藤課長

資料3は報告書(案)となっています。

各候補地の総評については、それぞれの候補地の状況について、皆さんから頂きました意見を反映させて記載したいと考えていますので、ご意見をお願いしたいと思います。

荒井会長

用地検討部会は、あと何回の開催を予定していますか。

齋藤課長補佐

次回は報告書についてのご意見をいただき、その次の用地検討部会で、修正した報告書の最終確認をしていただく予定ですので、あと2回を想定しております。

荒井会長

2回の用地検討部会でキャッチボールをして報告書を作成するという事です。本日の資料を持ち帰っていただいて意見を出してもらい、事務局は、その意見をもとに総評を作成するというスケジュールでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

荒井会長

住民への説明について、説明をお願いします。

石井環境部長

11月以降、市内の4箇所において、市が考えているごみ焼却施設がどのようなものであるかを市民の方々にご説明させていただきたいと考えています。

(パワーポイントを使用としてイメージを説明しました)

只今、ご覧頂いた内容につきまして、皆様からご意見、アドヴァイス等がありましたら、お願いいたします。

市民D

私も深沢地域の役員を対象とした説明会に参加しました。経過説明を終えてから質疑応答に移るようにした方が良かったと思いました。

石井環境部長

ご意見ありがとうございます。

(3) その他

荒井会長

それでは「その他」について事務局からお願いします。

遠藤課長

2点ございます。

1つ目として、9月の鎌倉市議会に、「用地を検討する組織に公正かつ適正な判断が求められるように、情報について、適切かつ十分な説明を行うように働きかけてほしい」という陳情が提出され、全会一致で採択されました。用地検討部会は、現在は非公開とし、議事録のみを開示している状況ですが、内容を十分に理解できないという誤解を招くことがないように、引き続き情報の開示に努めていく必要があります。

2点目は、次回開催日程については、調整させていただき、皆様にご連絡させていただきます。

荒井会長

適切かつ的確な情報提供をお願いいたします。

次回の日程については、なるべく多くの方が参加できる日程を選択してください。

それでは、第9回用地検討部会を終了したいと思います。ありがとうございました。